

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行  
2022年3月期  
中間決算説明会資料

2021年11月10日(水)

- I . 2022年3月期 2 Q決算について
- II . 今後の戦略及び見通し

# I . 2022年3月期 2 Q決算について

## <2022年3月期2Q 損益計算書の概要>

(単位：百万円)

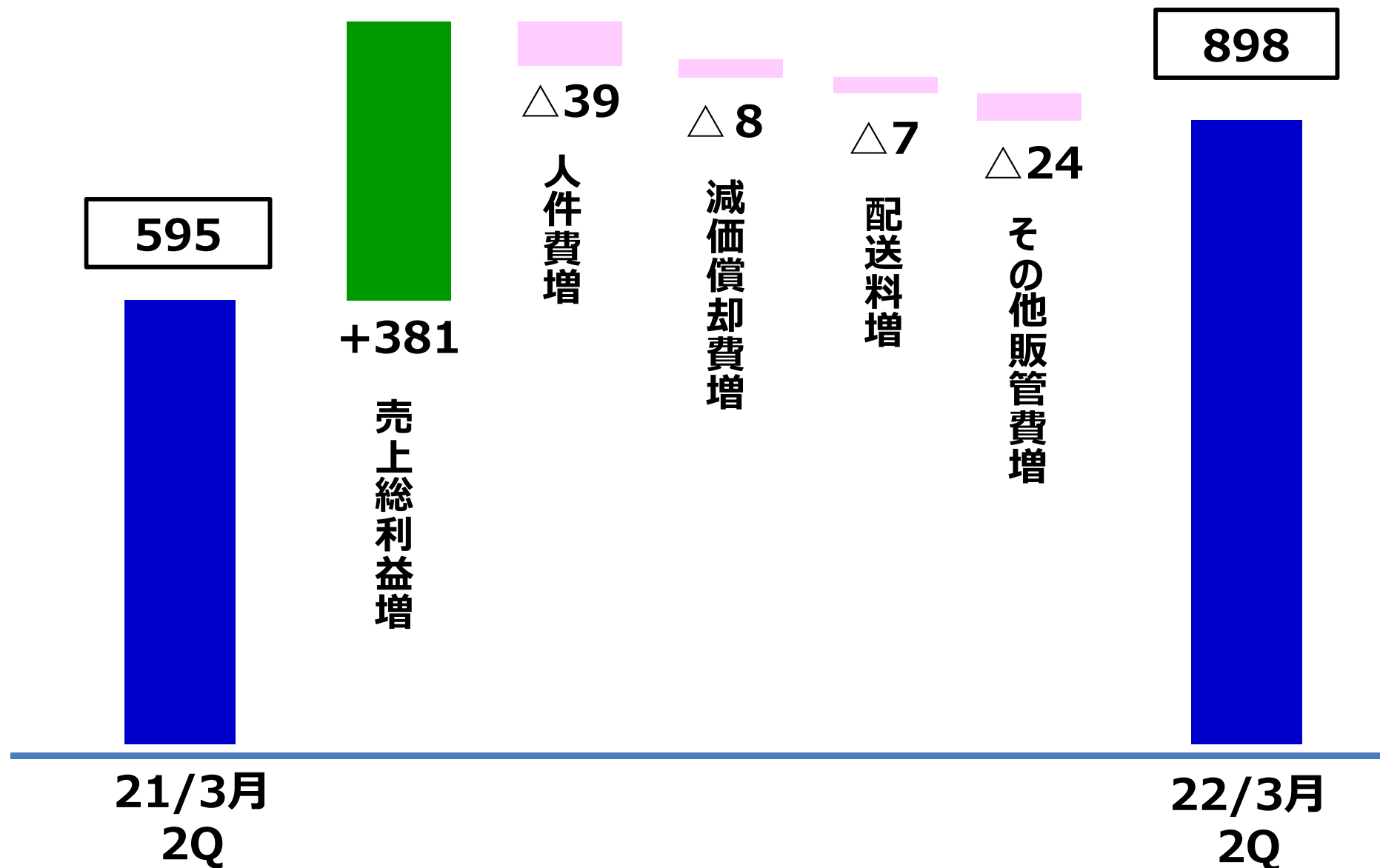
	21/3月期 2Q	22/3月期 2Q	前期比 (増減率)	備 考
売上高	12,194	14,415	18.2%	・電子部品や半導体製造装置向け国内販売が増加 ・中国のスマホ向け得意先への販売は引き続き好調
営業利益	595	898	50.8%	・売上総利益率は+0.5 P ・販管費は前期比+14.1%
営業利益率	4.9%	6.2%	+1.3P	
経常利益	673	944	40.2%	
経常利益率	5.5%	6.5%	+1.0P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	470	660	40.3%	
四半期純利益率	3.9%	4.6%	+0.7P	

### Point !

- 売上高では、半導体、電子部品向け販売が、好調に推移
- 半導体や部品、材料不足の影響により自動車・車載部品向けは伸び悩む

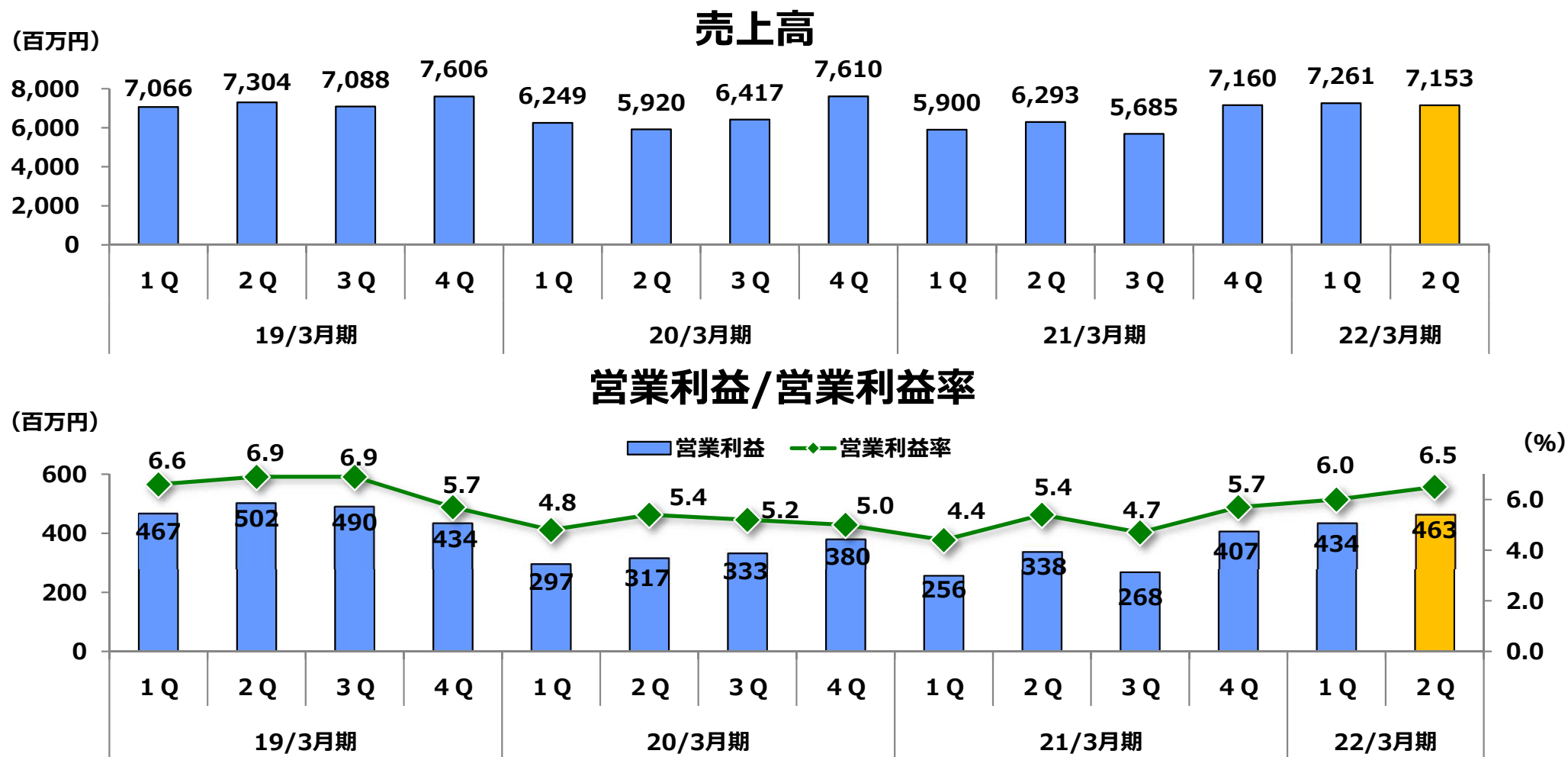
## <営業利益増減分析>

(単位：百万円)



※数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

## <四半期毎の売上高・営業利益の推移>

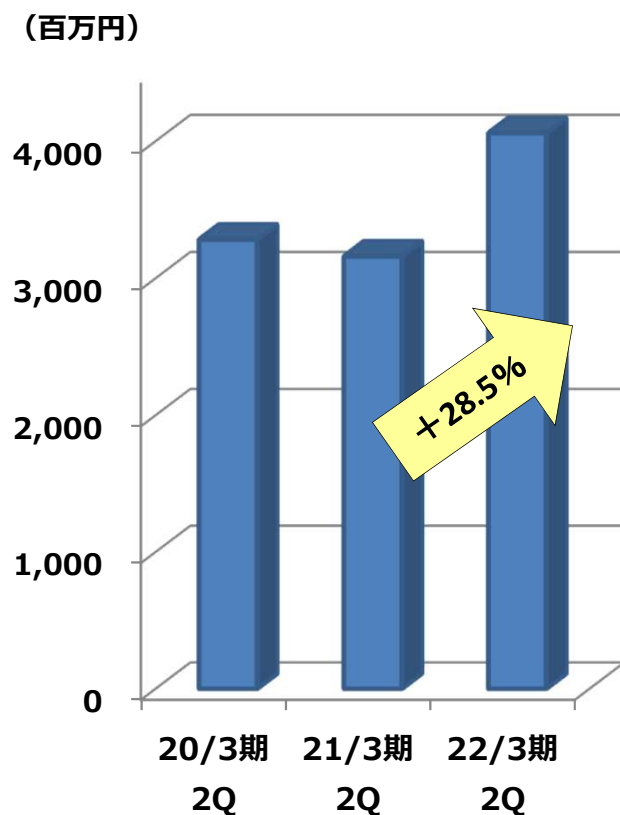


### Point !

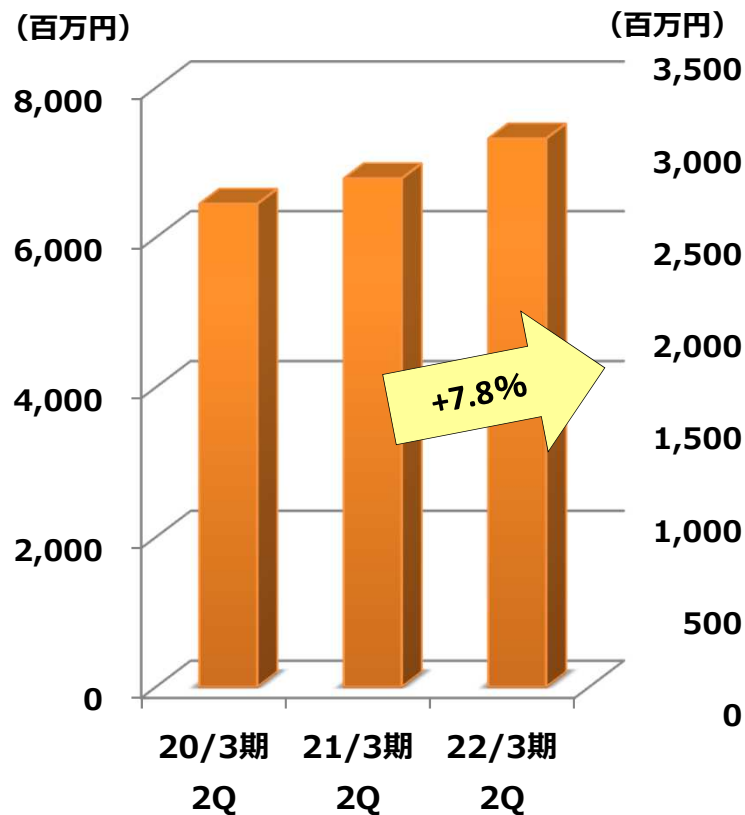
- 2Q累計期間で過去最高売上となる
- 電子部品や半導体関連の得意先からの受注が好調に推移

## <部門別売上高推移>

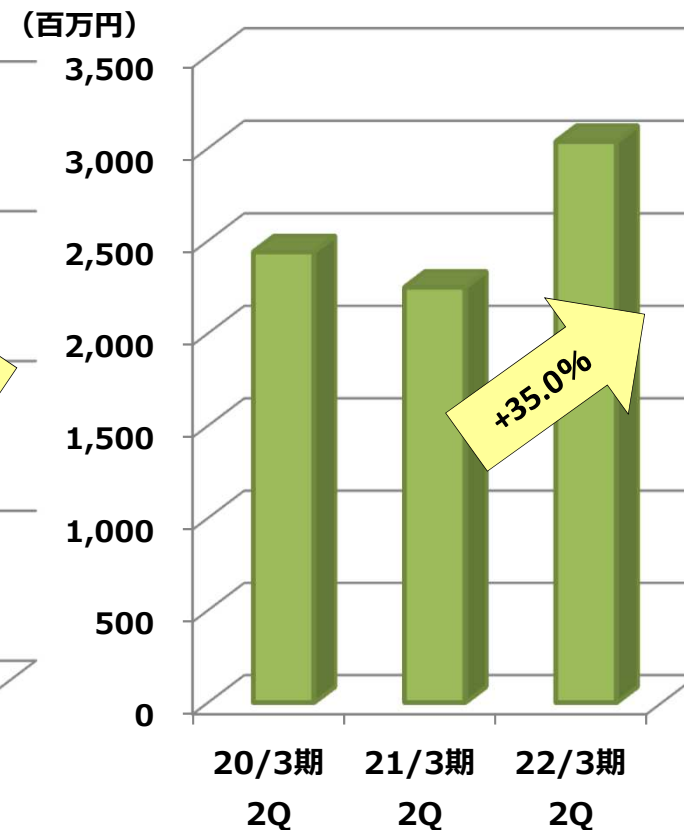
### 制御機器



### F A 機器



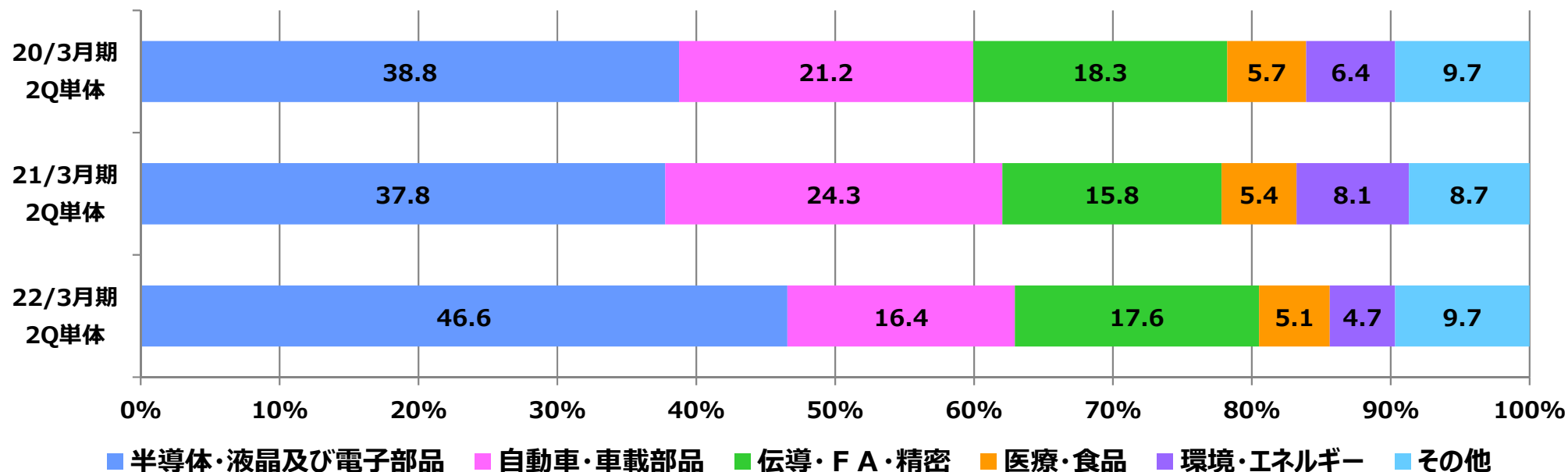
### 産業機器



### Point !

- 【制御機器】半導体及び半導体製造装置や電子部品関連の得意先からの受注が好調に推移
- 【F A 機器】国内自動車・車載部品関連向けの出荷は前期に比較して減少したものの、電子部品関連向け得意先への販売が増加。海外販売も好調を維持
- 【産業機器】半導体に関連する得意先へろ過フィルターの販売は、前期に引き続き好調を維持  
自動車・車載部品関連の一部得意先へ乾燥炉関連やナットランナーの販売が増加

## ＜業種別売上構成比（単体）推移＞



### Point !

#### ＜半導体・液晶及び電子部品＞

半導体市場及びスマートフォン市場の活況を受けシェアが拡大（+8.8P）

#### ＜自動車・車載部品＞

半導体・部品不足の影響による自動車生産抑制の影響を受け、一部得意先からの受注が減少しシェア縮小（△7.9P）

#### ＜伝導・F A・精密＞

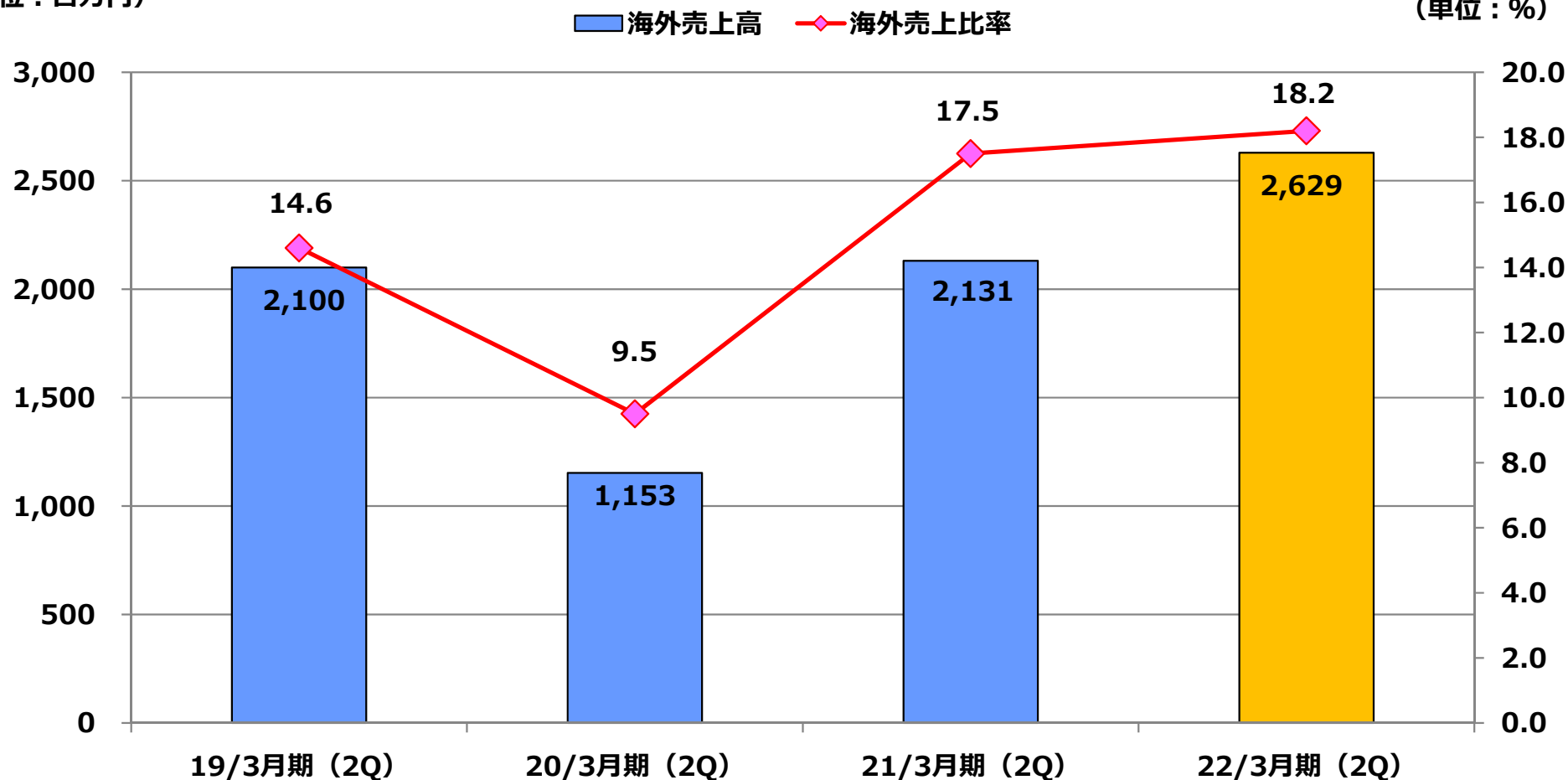
半導体・液晶製造装置や工作機械関連の得意先からの受注が増加しシェア拡大（+1.8P）



## <海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)

(単位：%)



### Point !

- スマートフォン関連得意先向けの販売が増加したことにより鳥羽（上海）貿易有限公司の売上が、前期に引き続き増加したことが主因
- 為替（円安）により押し上げ効果

## <2022年3月期 2Q 貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	21/3月末	構成比 (%)	21/9月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,786	76.3	20,636	75.8	
現金・預金	10,173	37.4	9,648	35.4	
受取手形・売掛金 ※1	10,163	37.3	10,725	39.4	
商品	368	1.4	185	0.7	
固定資産	6,443	23.7	6,593	24.2	
資産合計	27,230	100.0	27,229	100.0	
流動負債	8,397	30.8	7,958	29.2	
支払手形・買掛金 ※2	7,596	27.9	7,195	26.4	
固定負債	471	1.7	514	1.9	
負債合計	8,869	32.6	8,472	31.1	
純資産合計	18,361	67.4	18,757	68.9	
負債純資産合計	27,230	100.0	27,229	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

### Point !

- 構成比に大きな変化はございません。

## <2022年3月期 2Q 連結キャッシュ・フロー計算書の概要>

(単位：百万円)

	21/3月期 2Q	22/3月期 2Q	キャッシュ・フローの状況
営業活動によるC F	166	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金等調整前四半期純利益の計上 (+948百万円)</li> <li>・棚卸資産の減少 (+182百万円)</li> <li>・売上債権の増加 (△466百万円)</li> <li>・仕入債務の減少 (△438百万円)</li> <li>・法人税等の支払 (△270百万円)</li> </ul>
投資活動によるC F	△578	△223	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期預金の払戻 (+1,000百万円)</li> <li>・定期預金の預入 (△1,000百万円)</li> <li>・無形固定資産の取得 (△170百万円)</li> </ul>
財務活動によるC F	△212	△366	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配当金の支払 (△433百万円)</li> </ul>
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△4	27	
現金及び現金同等物 の増減額	△628	△525	
現金及び現金同等物 の期首残高	9,742	9,673	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	9,114	9,148	

## Ⅱ．今後の戦略及び見通し

### <国内の市場環境について>

コロナワクチンの接種率も向上し、9月末をもって緊急事態宣言等が解除され、経済活動正常化の期待はあるものの、依然として個人消費の低迷は継続し、国内経済の先行きは不透明。

- ◆ 半導体及び半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界  
各企業によるDXの推進等によりデータセンターや次世代通信規格5Gへの投資も継続し、設備投資は好調を維持していくものと予想。
- ◆ 自動車・車載部品業界  
自動車産業は、世界的な半導体不足やコロナ禍における海外生産（東南アジア）の停止による部品不足等が影響し、設備投資や生産量が抑制されている。  
自動車産業全体の正常化は、年明け以降までずれ込んでくるものと予想。
- ◆ 仕入商品需給のひっ迫、コスト増  
世界的な半導体不足、部品不足、原材料高、原油高等により、当社仕入先の商品需給がひっ迫しており、納期の長期化および仕入コストの上昇が懸念材料となっている。

### <海外の市場環境について>

#### ◆ 米国経済

ワクチン接種は順調に進展し、1.9兆ドルの政府による経済対策もあり、米国経済は回復してきた。2021年7-9月は多少失速してきたが、回復は継続していくものと予想している。

#### ◆ 欧州経済

コロナ感染の増減をくり返しているものの、ワクチン接種の対象範囲の拡大や追加接種が進んでおり、制限緩和され、経済活動の正常化が進んでいる。

#### ◆ 中国経済

いち早くコロナ禍から回復した中国の内需は堅調に推移しており、今年度中は継続していくものと予想しているが、恒大問題や電力不足等の不安材料がでてきており、今後の動向に注視していく必要がある。

半導体や電子部品等のハイテク製造業の設備投資は、高成長が続いており、当社グループの主要得意先であるスマートフォンに関連する得意先の設備投資も、好調を継続していくものと予想している。

### <2022年3月期の戦略>

#### ◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5G 関連潜在需要の取り込み  
半導体、電子部品、CASE、スマートフォン、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の販売を積極的に展開

#### ◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

#### ◆半導体向けろ過フィルターやEビジネスでの売上拡大

- ▶ 専任担当者の増員等を検討し拡販

#### ◆新商材の発掘

- ▶ 新型 A G V、新規協働ロボット等

#### ◆海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ ベトナム現地法人の早期黒字化支援
- ▶ 新規進出拠点検討

## <2022年3月期の業績予想>

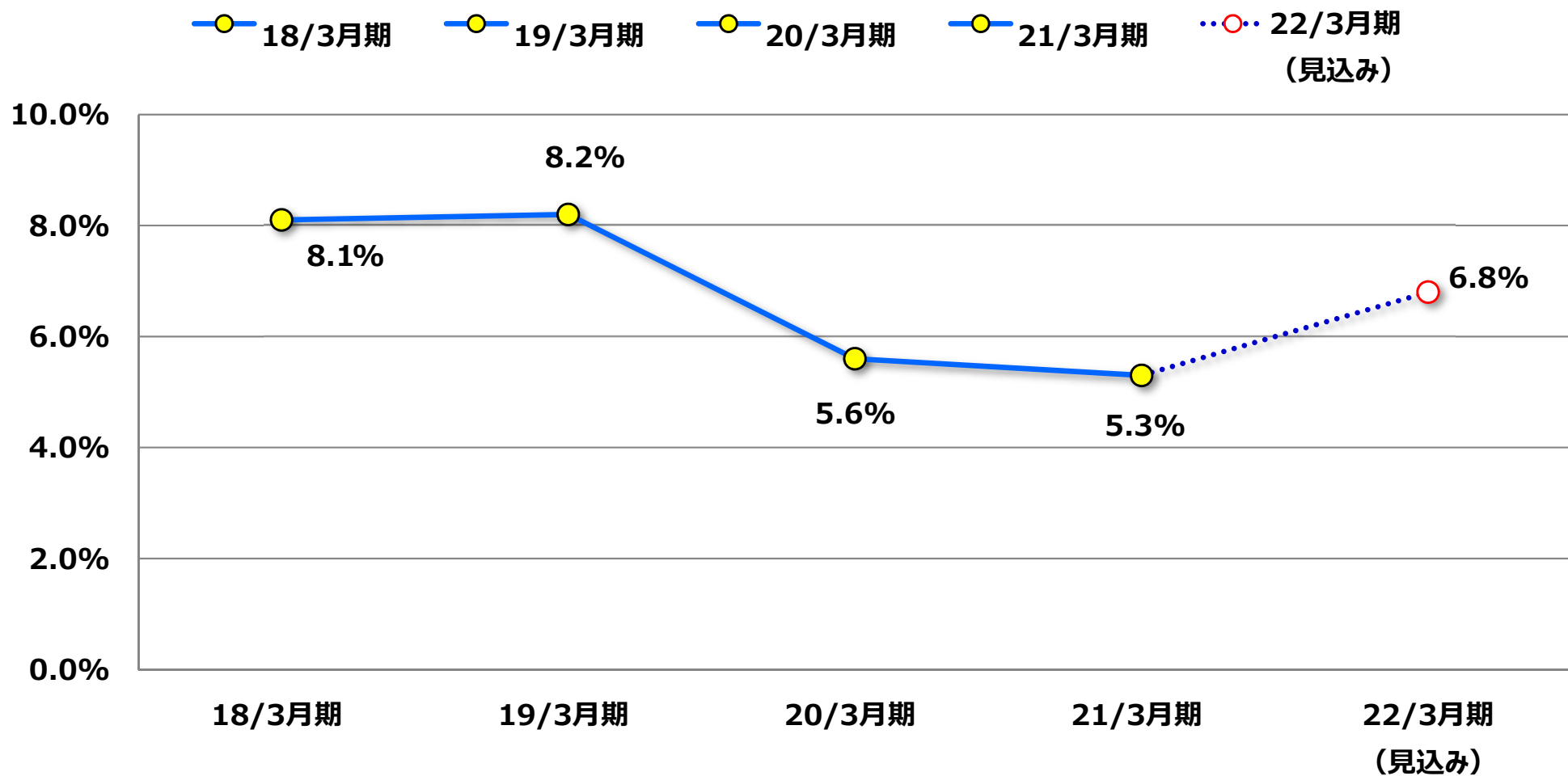
(単位：百万円)

	21/3月期 (実績)	22/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	25,040	28,500	13.8%
営業利益	1,272	1,720	35.2%
営業利益率	5.1%	6.0%	+0.9 P
経常利益	1,384	1,810	30.7%
経常利益率	5.5%	6.4%	0.9 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	949	1,270	33.8%
当期純利益率	3.8%	4.4%	+0.6 P

- 2021年11月4日に業績予想の修正を開示しております。



## <ROEの推移>



■ ROEは**8.0%水準**への早期回復を目指す

この資料には、2021年11月9日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp